

ほんのりともる明かりの世界

2月3日～12日の10日間、第19回小樽雪あかりの路が開催されました。今年も延べ51万8000人がメイン会場の小樽運河や旧国鉄手宮線などに訪れ、市内各所が市民や観光客でにぎわいました。訪れた皆さんは、アイスキャンドルやワックスボウルの明かりに照らされる中で、散策したり写真撮影をしたりするなどして楽しんでいました。



まちの写真館 スマイル

「広報おたる」に掲載したあなたの写真を差し上げます。ご希望の方はお申し出ください。



山口一郎さんの原点

現在、文学館では企画展「サカナクション・山口一郎さんの本箱」を開催しています。この企画展では、ロックバンド「サカナクション」の山口一郎さんが幼少期から親しんだ詩集や小説などを展示。訪れた皆さんは、山口さんが影響を受けた作品を興味深そうに観賞していました。企画展は4月9日(日)まで開催。

小樽に残したい文化を考える

2月11日、小樽経済センターでワークショップ「市民の手で守る、育てる文化財～歴史文化基本構想へ向けて！」が開催されました。会場では、高島越後踊り保存会の西島事務局長の講演後、食べ物や生活習慣、景色などから見える「小樽独特の文化」と「残したい小樽の文化」などについて皆さんから思い思いの意見が出されていました。

